

請 願 文 書 表

(令和2年2月26日)

<p>受理番号・受理年月日及び件名</p>	<p>請願第6号(2.2.18) 敬老パス・福祉パス制度の見直しに関する請願</p>
<p>請 願 の 要 旨</p>	<p>敬老パス・福祉パス制度は、高齢者・障害者・母子世帯・生活保護世帯への「社会参加と移動支援」を理念とした優れた交通・福祉政策として約50年間もの歴史を有しており、敬老パスの有償化(半額化)、福祉パスの対象からの生活保護世帯除外がありながらも、同制度は一定の役割を果たしながら現在に至っている。10年前の敬老パス有償化の際は、多くの市民の運動により、2年間の移行期間中は敬老パスで1回乗車につき50円の負担となり、さらに年収120万円以下の低所得高齢者に対し年間3万円の敬老無料乗車券が付与されることとなった。</p> <p>しかし神戸市は、令和2年第1回定例会市会2月議会において、有識者会議の答申であることを理由に、敬老無料乗車券を廃止すること、近郊区路線の上限110円料金設定を小児料金(半額)とすること、福祉パスの対象から母子世帯を除外することを決定しようとしている。</p> <p>昨年6月、公益社団法人兵庫県バス協会から緊急申入れを受け、神戸市は有識者会議を開催したが、同会議の傍聴は20人に抑えられ、広報・公聴会等で市民への周知することには非常に消極的であった。そのことはパブリックコメントでの提出意見がわずか603通であったことに大いに表れている。</p> <p>よって、以下のとおり請願する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 敬老無料乗車券、近郊区路線の上限110円料金設定の現状維持及び拡充をすること。 2. 父子家庭への適用を含め、母子家庭に対する福祉パスの現状維持及び拡充をすること。 3. 名古屋方式(フリーパス券)の高齢者・障害者を対象とした乗車制度について検討すること。 4. 神戸市全区において説明会を開き、市民の声を直接聴くための公聴会を実施すること。
<p>請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 敬老パス・福祉パス制度の維持・拡充を求める実行委員会 代表 山 崎 貢</p>
<p>紹 介 議 員 の 氏 名</p>	<p>(代表) あわはら 富夫 森 本 真</p>
<p>付 託 委 員 会</p>	<p>予算特別委員会</p>